



豊栄

学校通信 令和7年10月17日 NO.7

東広島市立豊栄中学校

〒739-2317 東広島市豊栄町鍛冶屋341-1

Tel 082-432-2351

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/toyosaka-chu/>



【学校教育目標】
よりよく生きる
～自律・貢献・感謝～

さわやかな秋、後期スタート

10月16日（木）から後期が始まりました。秋も深まる好時節、目標をもって有意義に過ごしてほしいと思います。後期前半には、文化祭や修学旅行など大きな行事が予定されています。

小中・中高連携

豊栄中学校は、豊栄小学校と賀茂北高等学校と連携して学校教育を進めています。小中や中高で合同での行事を継続して行っています。また、教科によって、中学校の教員が小学校に、高校の教員が中学校に出かけて授業を行っています。

○小中合同俳句大会

9月19日（金）、小中学校で各自作った俳句を審査したもの

を、オンラインでつないで俳句大会の表彰式を行いました。

＜最優秀賞＞ 2年 高橋 翔馬

「夏の夜 海にきらめく 月明り」

○中高合同体育大会

9月20日（土）に中高合同体育大会を賀茂北高等学校で開催しました。会場は高校生が準備と片付けをしてくれます。天候悪化が予想されたためにプログラムを変更して、午前中の体育大会となりましたが、生徒たちは体育大会を十分に楽しむことができました。



強力サポーター

町内の6地域の住民自治協議会のご協力により年2回の草刈りをしていただいております。2回目を10月1日（水）8:30～9:30に実施しました。15名の方が参加してくださいました。本当にありがとうございました。

コミュニティ・スクール(CS)挑戦応援事業

東広島市教育委員会では、「コミュニティ・スクールとして、学校と地域の活性化を図り、子どもたちが安心して学び、成長できる場を提供する取組への支援を行う」という目的のもとCS挑戦事業を展示しており、豊栄小・中学校はその事業に参加して、次のことに取り組んでいきます。主に部活動一斉休養日の水曜日に実施します。保護者の皆様には、御協力をお願いします。

○放課後学習スペース(毎水曜日)

これまで行ってきた活動の場所を、清武地域センターから豊栄中学校に移して行います。これまでどおり、地域のボランティアの方々にも来ていただいて、見守っていただきます。

○プログラミング教室(毎水曜日)

これまで中学生を対象として実施してきましたが、新たに小学生高学年を加えて行います。地域のプログラマーの方を講師に迎え、ゲームのプログラミングを学んで2年目の活動となります。

○「教えて！企業in豊栄」講座(隔月)

豊栄町内の企業担当者を招いて仕事内容を紹介していただきます。町内の企業が、豊栄町を盛り上げるためにどのような思いをもって取り組んでおられるのかを伺います。当初は、豊栄町の農業（米作り）についてお話をしていく予定です。

○「豊栄町の課題を考える」講座(隔月)

豊栄支所の御協力をいただき、令和4～5年に実施された町民アンケートをもとに豊栄町の課題について考え、解決策を見出すための話し合いをします。地域おこし協力隊員の方にも参加していただき活動を進めています。

○土曜特別講座(不定期土曜)

土曜日の午前中に、小中学校の教員が学校での授業の枠を超えて、小中学生に特別授業を行います。ワイワイと楽しんで学びましょう。保護者の方もお子様と一緒に参加できます。第1回は「生き物観察」で、水中の微生物を顕微鏡で観察しました。第2回は「勾玉づくり」です。実際に石をサンドペーパーで削って、自分だけの勾玉を作りあげていきます。

○地域の情報を伝える

地域の活性化を目的とし、小中学生の地域行事への参加を促すために、CS推進員が「コミュニティ・スクールだより」を通じて町内の各地域の行事を紹介していきます。

入賞おめでとう！

第64回地図ならびに地理作品展	地球環境賞	1年 佐藤 史菜 1年 立河 舞衣 1年 道前友里菜
第30回いい歯の日作文コンクール	広島県歯科医師会長賞	2年 金本 琉愛
中学生の「税についての作文」コンクール	西条納税貯蓄組合連合会会長賞	3年 藤岡 望実
ICT作品コンペ プログラミング部門 中学校ブロック	優秀賞 優良賞	3年 泊野 悠希 1年 八坂 狼季

行動は自分で決める！

10月16日（木）から後期が始まり、今年度は残り半年となりました。これからは、今年度を振り返りながら来年度に向けて、自分がどのような行動をしていくべきかを考えしていく時期となります。

○第1・2学年は、

先輩となる自分がどうあるべきかについて考えながら日々を過ごしてください。その中で「思いやりをもつ」ことを挙げておきます。「○○をすれば、相手はどう思うだろう」という意識をもってほしいのです。トイレのスリッパ、トイレットペーパー等を使った後、次に使う人を意識して整えておけるとよいですね。日々、意識して行動することでこれからが変わります。

○第3学年は、

それぞれの目標が決まり、今やるべきことがはっきりしてきたことと思います。「今は、○○をやるんだ」という強い意志をもって行動してください。友だちが誘うとか、ゲームがやりたいとか、今はだるいとか、は言い訳にしかすぎません。様々な言い訳を乗り越えてやり切った後には満足感が残ります。「今日、自分はがんばれた」と。このことを積み重ねていくことで、自分の意志のもとに行動できるようになると思います。

体罰セクハラ相談窓口 【082-432-2351】				
	担当者	来校曜日	時 間	相談場所
心の サポーター	井口 悅子	火・水曜日	8:15～12:15	相談室
スクール カウンセラー	海塚 敏郎	火曜日	10:00～16:15	相談室
体罰、セクハラ相談窓口	教頭 別本 英博 生徒指導主事 守岡新太郎 養護教諭 大下 夕依	生徒に対する体罰、セクシュアル・ハラスメントの早期発見と被害の拡大を防ぐことを目的としています。何かありましたら、遠慮なくご相談ください。		